

令和8年3月27日

九州地方整備局

熊本河川国道事務所

九州風景街道※ 「しらぬひ風景海道」が登録されました

○九州風景街道推進会議（会長：石原進 九州旅客鉄道（株）名誉顧問）が令和8年3月11日開催され、「新規ルート登録」が決定しました。今回登録となった「しらぬひ風景海道」は、九州風景街道として17番目のルートとなります。

※九州風景街道とは、住民、NPO、企業など地域が主体となって行政と連携しながら、道を舞台に地域ならではの風景や自然、歴史、文化などの資源を活かした「美しい景観づくり」や「活力ある地域づくり」、「観光振興」に関する取り組みです。

○本ルートは、熊本県南地域を対象に、民間43団体、行政12機関のパートナーシップ団体で構成された広域の風景街道ルートとなります。登録にあたっては、民間団体や行政機関が一堂に会し、各団体や機関における活動方針を共有したうえで、今後における活動の進め方について確認しました。

また、水俣市では水俣高校の生徒が考える将来の水俣の風景や街並みについて検討するなどの取り組みも進めて参りました。

○今後、パートナーシップ団体一体となって、熊本県南地域の観光振興や地域活性化などに向け活動して参ります。



R7.12 風景街道関係者総会「そーかい・そーかい」

国土交通省

九州地方整備局
熊本河川国道事務所

技術副所長

交通対策課長

電話：096-382-1111（代表）

やました

山下

たけお

竹尾

おさむ

修

りゅういち

竜一

コンセプトと活動の目的

コンセプト

みんなであつくりろう しらぬひ風景海道

① 地域活性化

地域の歴史、文化、伝統の継承、復元など世代間交流を通じたコミュニケーションの再生・促進など

大切な地域のアイデンティティを未来につなぐ

ひとつひとつの地域には大切な物語があります。地域のルーツを知り、地域のアイデンティティを物語として紡いでいきます。

② 観光振興

地域資源、活動の情報発信や来訪者を楽しませる工夫など

歴史と風土をアクティブに活かす
地元の子ども、観光客も、しらぬひを“学び”のフィールドに。

“歴史”と“風土”をアクティブに活かす
しらぬひツアーズを展開します。

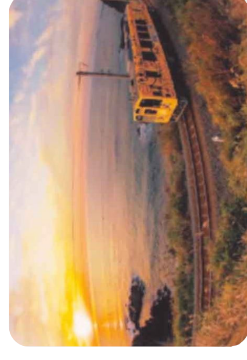
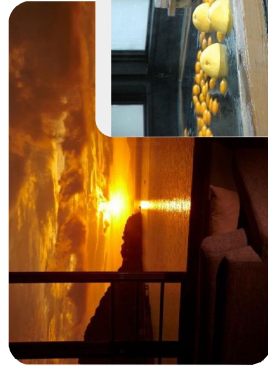
③ 美しい国土景観の形成

自然景観の改善、美しい景色の醸成など

ヒトの温度を感じる景観づくり

地域を知ると見える景色が変化する。
歴史・成り立ちを大切に、景観資源を
発掘し、みんなで道への愛着を守り・
育てる活動を推進します。

活動目的



活動体制

- ・多様な主体でパートナーシップ(PS)を構築し、美しい国土景観の形成、地域活性化、観光振興を図る
- ・熊本県南地域(宇土市、宇城市、氷川町、八代市、芦北町、津奈木町、水俣市)の産官学でPSを構成

推進体制

パートナーシップ団体

パートナーシップ全55団体

民間43団体

- NPO法人しらぬいの風
- JR九州
- (一社)DMOやつしろ
- 宇土市観光物産協会
- (一社)宇城市観光物産協会
- (一社)みなまた観光物産協会
- 芦北町観光協会
- 宇土市商工会
- 宇城市商工会
- 八代商工会議所
- 八代市商工会
- 津奈木町商工会
- 水俣商工会議所
- 芦北町商工会
- 氷川町商工会
- JAあしきた
- 肥後銀行
(宇土・松橋・八代・八代駅前・八代市役所・小川・佐敷・水俣)
- (株)NAINAI
- (有)ビーエス広告社
- NPO法人ななうらステーション
- 水俣市久木野地域振興会
- フットパス芦北
- 熊本大学
- 水俣高校
- 道の駅 うき
- 道の駅 宇土マリーナ
- 道の駅 竜北
- 道の駅 秘境の郷いずみ
- 道の駅 東陽
- 道の駅 坂本
- 道の駅 たのうら
- 道の駅 芦北でこぼん
- 道の駅 大野温泉
- 道の駅 みなまた
- FMやつしろ
- テレビやつしろ



【九州風景街道(事務局)】
九州地方整備局 本局(道計二課)

↑ 報告、相談 ↓ 連絡、支援

【パートナーシップ事務局】

民間：牧氏、澤田氏/ 行政：熊本河川国道・八代河川国道

↑ 提供・許可 ↓ 計画・申請

↑ 活動 ↓ 活動
↑ 支援 ↓ 支援

↑ 協働・協力 ↓ 活動
↑ 情報提供等 ↓ 相談

道路管理者
(国土交通省・県・市町村)

活動場所の提供、資材提供、
景観整備、道路修繕など

行政

後方支援
PS内連携

民間

活動実施・PS内連携
(広報/協働)

行政12機関

- 熊本河川国道事務所
- 八代河川国道事務所
- 熊本県(宇城・芦北振興局)
- 熊本県(熊本県南広域本部)
- 宇土市、● 宇城市、● 氷川町、● 八代市
- 芦北町、● 津奈木町、● 水俣市

活動範囲

・しらぬひ風景海道沿線である
宇土市、宇城市、氷川町、八代市、
芦北町、津奈木町、水俣市を対象。



芦北・水俣地域

- ・ 不知火海で獲れる太刀魚などの新鮮な海産物や、テコポン等の相橋が有名
- ・ 農業では環境に配慮した栽培方法を選択



宇土・宇城地域

- ・ 田園風景と不知火海の自然景観
- ・ 温暖な気候を利用した花き栽培や果樹栽培が盛ん
- ・ 三角西港、水島などの観光スポットが点在

八代地域

- ・ 八代平野で営まれる農業
- ・ 高速道路・新幹線・国際貿易港を有する
利便性を活かした工業が盛ん
- ・ 日奈久温泉などの観光スポットが点在



中心となる道路
(国道3号、国道57号、国道266号)

今後実施したい活動内容

①地域活性化

地域の歴史、文化、伝統の継承、復元など世代間交流を通じたコミュニケーションの再生・促進など

地域のつながり、
地域とのつながり、をつくる

次世代育成・元気な地域づくり



情報発信



- ・ 水俣高校の生徒と連携し探求学習による観光のモデルコースを作成
- ・ そのモデルコースを地域マスコミと連携し情報発信

②観光振興

地域資源、活動の情報発信や来訪者を楽しませる工夫など

たのしくかたる
仕かけをつくる

フットパス・ウォーキング



ルート内連携



- ・ フットパスコースを整備し、ツアーやイベントで地域の魅力を発信
- ・ サイクルトレインを活用し、サイクリングイベントを実施

③美しい国土景観の形成

自然景観の改善、美しい景色の醸成など

美しいしらぬひの
風景をつくる

美化・清掃活動



- ・ 国道3号での花植・清掃活動の様子

これまでの活動内容

「そーかい・そーかい」の開催

しらぬひ風景海道の立ち上げにあたり、NPO法人しらぬひの風をはじめ、沿線自治体や関係団体が参加する関係者総会「そーかい・そーかい」を開催しました。
当日は約60名を超える参加者が集い、「みち」の活用をテーマに、清掃活動やイベント開催、地域の歴史資源の活用、植栽による景観形成など多様な視点から意見交換を行うことで、参加者同士の交流を深めるとともに、今後の活動方針や連携の方向性を共有し、しらぬひ風景海道の持続的な展開に向けた機運醸成を図りました。



これまでの活動内容

おもなパートナーシップ団体の活動内容

有限会社ピーエス広告社 江崎 博美氏



日本遺産認定を契機に八代市の東陽町でフットパスコースを作った。石橋や歴史文化を巡る街歩きで地域の魅力を発信し、交流や観光促進を目指している。ガイド本の販売やイベント開催を継続し、第2弾コースも計画している。

フットパスコースを作ったきっかけ



令和2年6月19日
文化庁「日本遺産」に認定

【日本遺産認定タイトル】
八代を創造したかやした石工たちの軌跡
～石工の郷に息づく石造りのレカシー～

かつて全川であかれた「めがね橋」が今年多く分断する熊本、それらの多くは八代で生まれ育った石工たちによって手組られました。彼らの専らした手組は日本各地で必要とされ、「神田万世橋」や「通商橋」などの架設を助かに働き、全国に名声を轟かせるまでに至りました。それ故に、八代は多くの「名石工」を輩出した「石工の郷」と呼ばれています。

石工たちは、八代に広大な平野と豊かな農産物をもたらした「干拓事業」で、地域の交通を交えながら働いた重厚な干拓専門 川面に美しいアーチを描くめがね橋、息づいた歴史にわたって石造りのレカシーは日本を代表する今も、また石工の職人や人々の暮らしの中に生き続けており、訪れる人々を「石工の郷」へと誘ってまいります。

東陽町フットパスガイド完成



津奈木町 吉田 拓実氏



津奈木町では、1984年から「緑と彫刻のあるまちづくり」を掲げ、アートを軸に地域再生を進めてきた。現在のはつなぎ美術館を拠点に住民参加型プロジェクトを展開し、観光や交流を創出。地上絵やホテル、海岸アートなどが地域の魅力を発信し、人・自然・アートがつながる中で、新たな交流や価値を生み出すまちづくりを継続している。

つなぎ美術館の概要と特色

アートによるまちづくり拠点として
2001年4月に開館



浅井裕介 つなぎの根っこ



《海》



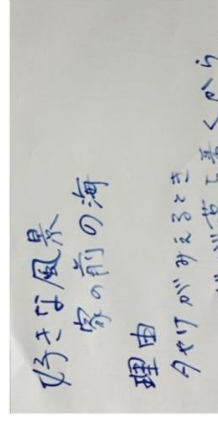
これまでの活動内容(水俣高校 探究活動連携)

探究活動の概要

- ・水俣高校2年生(9名)を対象に高校生の考える風景海道のあり方を探究
- ・探究学習時間は、【金曜14:35～15:25】
- ・熊本大田中准教授指導で実施(全19回)



風景海道の拠点にあらたらしいなをチームで描く(計画)



5月:熊本大田中准教授、国土交通省からの講義



6月:グループワークで地域にあらたらしいなを議論

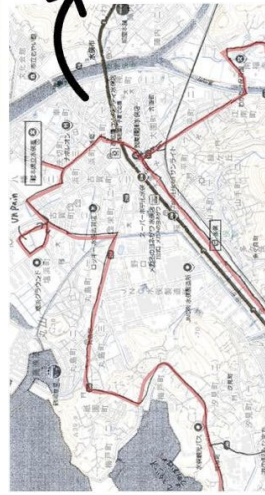


7月:中間発表の準備・プラン発表



2025/7/11 2チームに分かれて中間発表

風景海道における拠点と拠点のつなぎ方を考える(ルート検討)



9月:点と線のつなぎ方を検討(歩く・自転車・モビリティ)



ウォーキングルートを調査



10月:検討したルートを現地視察で確認

水俣高校 探究活動連携内容



11月:マップ作成



グリーンスローモビリティ班

風景海道

～水俣の自然と町並みがゆっくりと楽しめる道～



12月:成果発表(そーかい・そーかい)



徒歩班

風景海道

～歩いて、水俣を食べ尽くそう!～






1月:成果発表(風景海道現地視察)



自転車班

風景海道 「自転車だけでなく碧き海、緑の丘、水俣
～自転車で水俣を満喫する旅～」



特徴:他の移動よりも海を感じ自然を感じるこ
とができる
食べ物(チャンポンなど)
人の温かさ

未来:自転車専用道路
桜、もみじ、四季に応じてきれいな道